

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに … それが社会福祉協議会の目標です。

筑後市社会福祉協議会

(〒833-0032 筑後市野町680-1) TEL 52 - 3969FAX 53-6677

mail info@chikugo-shakyo.or.jp URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

があるので、

福祉員・福祉相談員 新任者研修会 2023

支え、支えられる姿を 次の世代に見せていくこと 大切な福祉活動

6月4日(日)・11日(日)、福祉員・福祉相談員 新任者研修会を開催しました。講師の中村秀一さ ん(九州大谷短期大学教授)から、地域での福祉 活動について講義していただきました。

ません。 ることが予想されます。 が多くなっていきます。 ていくかもしれません。 としたことでも頼めない、 のつながりがなくなると、ちょ \mathcal{O} ゴミ出しができない高齢者も増え 若いうちは特に困らないかもし 人に「一緒に出してくれん?」 買い物に困る高齢者が増え しかし高齢になるとどうで しかし、 昔なら隣近 地 つ

と言えたかもしれません。

祉 員 行政区内の福祉の代表者。

必要な支え合いの取り組みを提案、具体的に前 進させていく中心となる人。

日常的な支援活動をする人。 福祉相談員

民生委員と連携して、困っている人の課題を解 決できるよう、個別に支援(見守り・声掛け訪問・ 話し相手や簡単な生活の手伝い等)をする人。

福祉連絡員 隣組内の連絡役。

万一異変に気付いた時にいち早く民生委員や関 係機関に連絡する人(各隣組長が兼務)。



ときに、 でも買いに行けます。 例えば夕食に刺身を食べようとした 所のつながりは薄れていきました。 借りていました。 たとします。 便利になりました。 しかし昔は何もありませんでした。 わさびがないことに気づい 昔なら隣の家に行って 遠くの親 しかし、 かし、 今は夜中

買いに行けるようになりました。 今はコンビニや24時間営業のお店 夜中でも必要なものは たら、 支援力はあっても、

ミを持って行ってほしい」と言われ 力が育まれていないのです 支援力は残っている。 のではないでしょうか。 しかし、隣に住む高齢者から「ゴ 持って行ってくださる方は多 援力は育まれてい しかし、

り遠くの親戚」になっているのです。 したりする。 遠方に住んでいる息子や娘にお願い それがなかなか言えません。 つまり、「近くの他人よ だから

この広報紙は、点訳・音訳の広報も発行しています。希望の際は気軽にお尋ねください。

利

地域のつながりは薄れた。 な社会になったが。

地 域の中で話し合い 仕組みづくりを考える。

るのです。 ると前述の買い物やゴミ出しの問題 の問題になっていきます。 んたちの中で話し合うことが大事で だからこそ、 **局齢化はさらに進みます。そうす** 声をかける仕組みづくりを考え 話し合いの中でゴミを出す仕組 個人のものではなく、 地域の問題は地域 地域全体

つくれるか。それは人とのつながり もしれません。 の世代に見せていくことも、 や関わりの中から生み出されるのか 自分らしく納得した生き方をどう そうした、

支え支えられる姿を次 大切な

で行い、できないことは行政等を頼

自分たちでできることは自分たち

ればよいのです。

支える=支えられる。

支援は一方通行ではない。

次の世代に見せていく。 支えられる姿を

は完結しません。 う生きるか」 利を有する」とされています。 で文化的な最低限度の生活を営む権 きること」 日本国憲法で「すべて国民は健康 はできます。 は 法律や制度だけで しかし、

することが大事です

いは「支える=支えられる」を意識

支えられる側です。地域での支え合

つまり、どちらも支える側であり、

の登下校の安全を見守る。

を見守るそうです。

高齢者は子ども

という仕組みがあるそうです。子ど

ある自治体では「子ども民生委員」

もが登下校中に1人暮らし高齢者宅

▲福祉員・福祉相談員の皆様へお渡 ししている「証明書」。

生きづらさを抱える人のつどい 「うつ」「HSP」「家族関係」「発達障害」等々-



生きづらさを抱える人のつどい一。そんな集 まりが、ちくご地域ユースサポート(市内新溝) で開かれています。5月21日(日)のつどいには、 7人の男性が参加、それぞれに生きづらさが話 されました。

その中からは、「うつ」「HSP」「不登校」「精神 疾患」「パワハラ」「家族関係」「発達障害」など の話題が多々。会は盛り上がり、予定時刻を過 ぎても話はつきませんでした。

同つどいは、奇数月の第3日曜日に開かれて いるとのこと。次回は7月16日(日)10:00~ 同会場にて行なわれる予定です。

大学生が高齢者宅の草取り作業 九州大谷短期大学ボランティア論・



6月7日(水)九州大谷短期大学の15名の学 生が、市内高齢者宅の草取り作業を行いました。 これは、同大学の「おおたにの学び」(ボランティ ア) の一環で野外での活動を体験したものです。

それに先立ち、5月には座学でボランティア 活動について社協職員から説明。そしてこの日 の活動となりました。

学生からは、「支援する側=される側。同じ立 場であることが大事だと感じた」「自分が高齢に なった時にも同じ事ができるようにしたい」「た くさんの人を支え、逆にたくさんの人に支えら れたい」といった感想が出されていました。

受講者募集

音訳ボランティア入門講座

ご室内 音訳活動は、視覚や身体に障害がある方の ために、声を録音してお届けするボランティア活動 です。皆様のお申し込みをお待ちしています!

- ◇とき 8月3日、10日、17日、24日、31日 (いずれも木曜日、時間は13:30~15:30)
- ◇会場 筑後市総合福祉センター
- ◇講師 峰惠さん(福岡県立図書館 音訳の会)他
- ◇対象 音訳に興味があり、パソコン操作が 可能な方
- ◇申込み〆切 7月27日 (木) 17:00

申込み 筑後市社会福祉協議会

TEL 0942-52-3969 FAX 0942-53-6677 Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

チャレンジャー募集!

勇者よ、あつまれ! こどもクエスト

会場内に隠れているモンスターやアイテムを見つ けていくスタンプラリーのようなゲームです。

と き 7月15日(土)、16日(日) 時間はいずれも 9:30 ~ 16:30



ところ 筑後市総合福祉センター

参加費 子ども1人300円(2人目から200円)

*赤い羽根共同募金への寄付とします。

申込み 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969

*事前申し込みが必要です。

*詳細は市社協ホームページをご覧ください。

★子育て世代を食で応援プロジェクト

寄付でいただいた食品(お米など)を無料配布します。

と き 7月14日 (金) 18時~19時 無くなり 配布場所 筑後市総合福祉センター

象 小中学生の子どもがいる世帯

- *筑後市在住の方限定(ひとり親家庭の方は除く。 偶数月のフードパントリーをご利用ください)
- *事前申し込みは必要ありません。

気軽にお立ち寄りください

精神障害のある人のための居場所・交流スペース

かたる~むの7月の予定

と き 7月14日・28日(金)

13:30 ~ 15:00

★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター (野町 680-1)

問合せ 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

介護家族の会 コスモス 介護講座

受諡者某集!

介護の基礎編

~家族を介護する人のための学習会~

と き 7月30日(日) 10:00~11:30

講 師 森永牧子さん(九州大谷短期大学教授)

会場の筑後市総合福祉センター

対象者 家族を介護している方

申込み 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969

顔の見える関係を目指して

区単位で福祉連絡員 (隣組長) 研修会一



社協職員が行政区の集まりに出向き、福祉員 制度についての説明をさせていただいています。 5月28日(日)には流行政区で福祉連絡員の 研修会。福祉連絡員は隣組長が兼務しており、 日々の隣組長業務の中で、気になることがあっ たら区内の関係者へつなぐ役割を担っていただ いています。

職員からは、「"見守り"が"見張り"になら ないように。さりげない関わりと、顔の見える 関係づくりが大事」「共感・理解・受援力・気づ く・つなぐをキーワードにしてほしい」と説明 しました。

緒方

社会福祉事業資業寄付

〇ユーコーラッキー37筑後店様

の寄付がありました。

○島津守男様(久保)、 匿名様から紙オ

からお菓子の寄付がありました。

ムツの寄付がありました。

付の部

江﨑 大月 弘子 様 勝旦様 敌 敌 忠巳様) 秋子様)

常用東

田

JAふくおか八女フレッシュミズ様

(上北島) 、匿名様からジャガイモの

ひとみ 様 敌 クニ**ヱ**様

敌 敌 (故 ヤス子様) (健介様) 幸治様 田 田

登美子 様

寄付がありました。

○JAふくおか八女よらん野様 ○㈱プレシア様(下北島) ○匿名様からチャイルドシートの寄付 の寄付がありました。 から野菜の寄付がありました。 がありました。 からお菓子

(いずれも5月1日~5月3日まで)

○匿名様からお米の寄付がありました。 **善息奉仕銀行寄付** から紙オムツ

〇井上順子様(和泉西)

食品の寄付がありました。

● 預託の部(物品口座)





から現金

〇城後ナオ子様 (黒木町)

の寄付がありました。

二三二、一八三

○社協ヘルパー○B会たんぽぽ会様

寄付がありました。

から現金の寄付がありました。

 \bigcirc

ルタ印刷様

(大和)

から現金

★ 一般寄付の部

敬子様 广守男 様

敌

西山絹代様)

|◎玄 米(収穫後1年以内のもの) 内容 □ ○精白米 (精米後半年以内で未開封のもの)

〔ご寄付の方法〕

〇下川トシ子様 (常用東)

からタオル

菜の寄付がありました。

〇立山康弘様

(和泉西)、

匿名様から野

- ①市社協(TEL52-3969)へご連絡いただき、 希望される寄付の量・内容についてお知 らせください。
- ②その後、筑後市社協へお持ちください。 (持ち運びが困難な場合は、①のお電話 の際にご相談ください) (住所) 筑後市野町 680-1

総合福祉センター内事務所

*ご寄付の合計が500kgに達しましたら募 集は終了します。

いただいたお米は、各地域で行われてい る地域食堂や市社協のフードパントリー 事業等で活用させていただきます。

ひきこもり家族相談会

き:7月20日(木) 13:00~16:00 (毎月第3木曜日13:00~16:00実施)

◎ところ:筑後市総合福祉センター

- ・相談希望の方は、7月13日(木)17時まで にご予約ください。(1日限定3組)
- 原則、来所での相談となります。
- 匿名での相談も可能です。

はたくさんお聴きしてきました。 い支援に関わり、これまで、そんな話

だからでしょうか。

問合せ・予約は筑後市社会福祉協議会へ FAX: 53-6677 TEL: 52-3969

です。わずかながらですが、きょうだ

障害のある人のきょうだいたちの声

ぎて、弟の方へ行く」

私は弟の付属品なの?!」

私の名前は呼ばれない

「『〇〇くんのお姉ちゃ

ん』と言われ

「療育機関に行くと、

皆私を通り過

けでしょうか? いるのではないか。 の言葉はとても重く 尋ねられる場面が多々あります。 の存在が、知られていないから、こう なっただろう・・。 した出来事が起こるのかもしれない。 きょうだい支援って何ですか?」と 理解者がほしい」と言いました。こ あるきょうだい児は「支援者ではな 現に、福祉職の人と話す中でも 考えてみると、「きょうだい支援」 そう思うのは私だ そして的を射て











すが、先生の目の前にいる生徒も一

不登校の子が心配なのも分かるので

への子ども。この子はどんな気持ちに

いう話が気になってしまって。

だろう?』と言われたんですよね」

で弟は学校に来ないんだ?お前は家族

「弟が不登校になった時、先生に